

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-V-1

4-V
-1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	来訪者の保全意識の啓発
	節	V. 来訪者マナーの醸成		
事業(施策)名	1 見学マナーの啓発		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28～H34		関連団体 佐渡市観光振興課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○ 構成資産の保全のため、来訪者による構成資産へのき損や落書き、遺物・鉱石等の持帰り等がないよう、来訪者の保全意識の啓発を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○ 来訪者の保全意識を高めるため、注意喚起を目的としたサインの設置を行うとともに、構成資産を見学する際の来訪者マナーについて普及啓発活動を行う。</p>			
事業実績	<p>【事業成果】</p> <p>● 他地域における取組事例の情報収集、サイン設置に向けた現況の設置状況の把握、想定されるサイン不足箇所の洗い出しといった、今後のサイン等の設置に向けた基礎情報の収集に努めた。</p>			
今後の取組・課題	<p>【課題】</p> <p>■ 来訪者へ見学マナーの周知徹底を図るとともに、構成資産が広範囲に分布することから、効果的な箇所にサインを設置する必要がある。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■ 平成29年度にマナー醸成に向けて一般向けの周知パンフレット(史跡の現状変更行為への手続きや見学の際のマナー、危険箇所における注意喚起について書かれたもの)を作成する。</p>			
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a ● b ・ c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a ● b ・ c]</p> <p>【総合評価】 [A ● B ・ C]</p> <p>◇ H28年度は、今後のサイン等の設置に向けた基礎情報の収集・検討期間と位置付けているため、今後の事業展開に向けて一定の成果があったと考える。</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。